

環境省環境調査研修所施設の管理・運營業務の評価（案）の概要

1. 業務内容及び契約期間

○業務内容：環境省環境調査研修所（埼玉県所沢市）の管理・運營業務

〔定期点検業務、清掃業務、管理人業務、省エネマネジメントシステムの運用・分析業務、植栽及び緑地管理業務〕

○契約期間：平成 24 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日までの 3 年間

（今期は民間競争入札の 2 期目。1 期目は平成 21 年 4 月～平成 24 年 3 月の 3 年間）

2. 実施状況に関する評価

(1) 施設利用者の安全性の確保

施設の管理・運営の不備に起因する事故等の発生は、平成 24 年度及び 25 年度とも 0 回であった。

(2) 施設利用者の快適性の確保

全ての研修生を対象として実施した「施設利用に関するアンケート」の結果より、いずれも目標を超える高い数値を保っている。

| 設問事項 | 目標 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 |
|--|-------|----------|----------|
| Q 1. 宿泊部屋の清潔度について | 80%以上 | 99.0% | 98.2% |
| Q 2. 全館共用部分(廊下、教室、水まわり)の清潔度について | | 99.0% | 98.2% |
| Q 3. 宿泊棟の施設利用をするに当たっての安心・信頼度(管理人の対応)について | | 99.5% | 99.6% |
| Q 4. 敷地内の屋外環境(植栽)の快適度について | | 99.3% | 99.0% |

※選択肢は①満足、②ほぼ満足、③普通、④やや不満、⑤不満の 5 段階とし、①～③を肯定的な回答とする。

(3) 各業務において確保すべき水準

各業務について実施要項で定められた業務内容が適切に実施されている。

(4) 民間事業者からの改善実施

○省エネルギーに向けての改善

宿泊棟冷温水配管階別仕切弁の追加や本館空調機の冷温水送水システムの省エネ化等を実施することにより、エネルギーの効率化を図り、電力使用量を平成 22 年度比で、平成 24 年度 4.5%、平成 25 年度 1.1%の

削減をすることができた。

○研修生の厚生施設利用等の改善

シャワールームや洗濯・乾燥機の使用について予約表が作成されることにより利便性の向上が図られるなど、施設利用者である研修生に対して細やかな対応が行われた。

3. 実施経費に関する評価

実施経費は1年間で31,500千円（税込み、平成24年度から追加された原子力規制庁関係研修業務（研修生について一年度当たり約100名増加、割合として全体の7%）等を考慮し算出）であり、民間競争入札を導入する以前の従来経費33,018千円（平成17年度～19年度の平均経費）と比較して、1,518千円（△4.6%）の経費削減が図られていると評価できる。

4. 今後の事業について

民間競争入札の導入により、公共サービスの質・水準の確保及び実施経費の削減の双方が実現している。更に民間事業者の創意工夫も発揮されていることから、良好な実施状況であると評価できる。

競争性の確保についても取り組まれることとなっており、監理委員会の関与がなくても引き続き適切に実施されることが見込まれる。

これらのことから「市場化テスト終了プロセス及び新プロセス運用に関する指針」（平成26年3月19日官民競争入札等監理委員会決定）Ⅱ. 1.（1）の基準に基づき、今期をもって市場化テストを終了することが適当であると考えられる。

以上